

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 手足口病

定点当たり25.82人の報告があり、前週の約1.6倍に増加しました。この報告数は、過去20年間で最多となります。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。特に、この疾患にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活する保育園や幼稚園などでは、注意が必要です。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり5.57人の報告があり、増加しています。全国も増加傾向で推移しており、注意が必要です。手洗い、換気、効果的な場面でのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

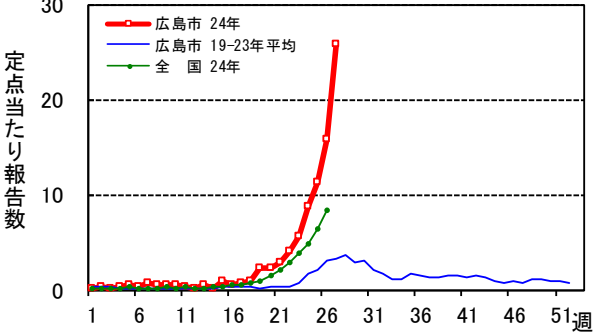
3 ヘルパンギーナ

定点当たり1.68人の報告があり、増加しています。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

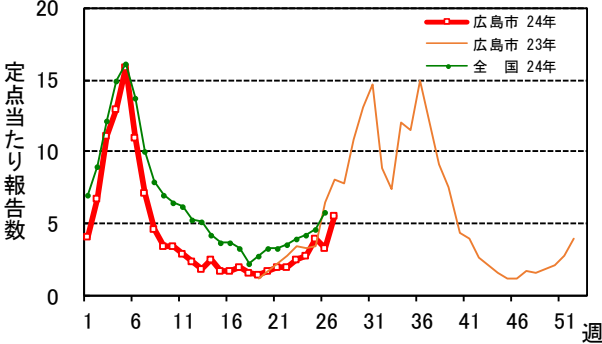
4 デング熱

今年初めての報告が1件ありました。(次ページ参照)

手足口病の流行状況



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	5	0.14	0.15		小児科	ヘルパンギーナ	37	1.68	1.48	
	新型コロナ(COVID-19)	195	5.57				流行性耳下腺炎	-	-	0.06	
小児科	RSウイルス感染症	18	0.82	1.88		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	18	0.82	0.53			流行性角結膜炎	5	0.63	0.38	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	2.23	1.24		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	100	4.55	4.26			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	4	0.18	0.17			マイコプラズマ肺炎	5	0.71	-	
	手足口病	568	25.82	3.28			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.05	0.06			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	-	
	突発性発しん	6	0.27	0.30							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

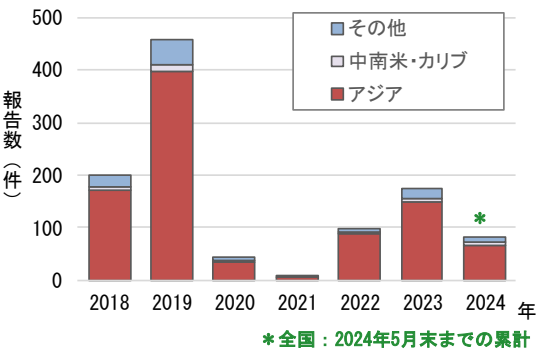
類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	62	20歳代・推定感染地域: 国外・1人、80歳代・1人、90歳代・2人
4	デング熱	1	1	60歳代・推定感染地域: 国外
5	後天性免疫不全症候群	2	4	10歳代・感染者、20歳代・エイズ
5	梅毒	11	82	20歳代・4人、30歳代・3人、40歳代・2人、50歳代・1人、60歳代・1人
5	百日咳	1	3	30歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

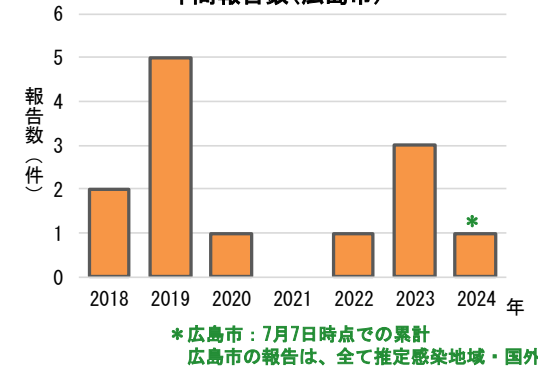
			インフルエンザ (COVID-19)	新型コロナウイルス 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
報告数	広島市	第23週	1	87	23	13	66	148	6	123	9	5	18	2	-	19	-	-	2	-	4
		第24週	4	94	23	20	76	133	7	194	-	4	23	1	-	11	-	-	2	-	-
		第25週	6	137	23	21	77	110	4	251	-	9	32	-	-	4	-	-	1	-	2
		第26週	5	115	12	23	45	100	5	348	1	10	25	-	-	6	-	1	4	-	-
		第27週	5	195	18	18	49	100	4	568	1	6	37	-	-	5	-	-	5	-	1
定点当たり	広島市	第23週	0.03	2.49	1.05	0.59	3.00	6.73	0.27	5.59	0.41	0.23	0.82	0.09	-	2.38	-	-	0.29	-	0.57
		第24週	0.11	2.69	1.05	0.91	3.45	6.05	0.32	8.82	-	0.18	1.05	0.05	-	1.38	-	-	0.29	-	-
		第25週	0.17	3.91	1.05	0.95	3.50	5.00	0.18	11.41	-	0.41	1.45	-	-	0.50	-	-	0.14	-	0.29
		第26週	0.14	3.29	0.55	1.05	2.05	4.55	0.23	15.82	0.05	0.45	1.14	-	-	0.75	-	0.14	0.57	-	-
		第27週	0.14	5.57	0.82	0.82	2.23	4.55	0.18	25.82	0.05	0.27	1.68	-	-	0.63	-	-	0.71	-	0.14
	全国	第25週	0.16	4.61	1.27	0.86	4.04	4.24	0.22	6.31	0.09	0.34	1.07	0.07	0.05	0.66	0.02	0.04	0.40	-	0.02
		第26週	0.20	5.79	1.36	0.74	3.83	4.09	0.22	8.45	0.10	0.33	1.58	0.07	0.03	0.67	0.04	0.05	0.39	-	0.02

【参考】日本の輸入デング熱症例の発生動向について

輸入デング熱症例推定感染地域別年間報告数(全国)



年間報告数(広島市)



デング熱は、デングウイルスを保有している蚊に刺されることによって生じる感染症です。2～14日の潜伏期間の後、急激な発熱で発症し、発症3～4日後から発疹が現れます。

国内で報告されるデング熱は、近年は、ほとんどが輸入症例(日本国外で感染)です。過去5年間、世界的にデング熱の患者数が大幅に増加していることや、海外渡航者も増加していることから、注意が必要です。

感染リスクのある地域は、アフリカ地域、アメリカ地域、東地中海地域、東南アジア地域、西太平洋地域の熱帯・亜熱帯地域です。

流行地域を訪れる際は、できる限り肌の露出を避け、虫よけスプレーを使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。また、海外から帰国後、発熱等体調異常がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

【参考】

日本の輸入デング熱症例の動向について(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/dengue-m/690-idsc/6663-dengue-imported.html>



デング熱(Dengue Fever)(厚生労働省 検疫所)
<https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/name33.html>



デング熱ー世界の状況(厚生労働省 検疫所)
https://www.forth.go.jp/topics/2024/20240610_00001.html



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp